

社会福祉法人 天理市社会福祉協議会 令和4年度 事業報告書

令和4年度事業計画の基本方針に則り、「誰もが地域で安心して暮らしお互いが支え合い、思いやりと生きがいのあるまち・天理」を実現するために、行政・区長連合会・民生児童委員・長寿会連合会・障害者福祉団体連合会・ボランティア活動団体等とも連携しながら、高齢者・障害者（児）・子育て家庭・生活困窮者など、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来るよう、地域に密着した事業に取り組み、地域福祉の推進に努めました。

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく予定していた事業は中止若しくは、行うに際しては感染防止対策を講じ内容を制限するなどして実施しました。

そのほか、新型コロナウイルスの影響で収入の減少や失業等により生活に困窮されている世帯に対して奈良県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金の特例貸付事務を9月末まで行い丁寧な対応に努め、適切に処理しました。また、返済が始まり生活に困難を抱える世帯に対して引き続き相談と支援を行いました。

なお、地域や関係団体のニーズに応えられる組織として、効率的で安定した経営を目指すとともに、指定管理者制度の施設を継続的に受託できるよう取組を進めながら、住民からの信頼にも応えられる組織として次のとおり事業を推進しました。

【1】法人運営

組織運営のため理事会、評議員会、監事会及び評議員選任・解任委員会を開催しました。

◆理事会 5回開催

日 時	議 題
第1回 令和4年6月7日（火） 理事10名 監事2名 ※書面により審議事項を決議しました。	審議事項 （1） 評議員の推薦の同意を求めることについて （2） 令和3年度事業報告並びに収支決算について
第2回 令和4年6月27日（月） 理事10名 監事2名 ※書面により審議事項を決議しました。	審議事項 （1） 副会長及び常務理事の選定について
第3回 令和5年1月19日（木） 午前10時～ 理事7名 監事2名	審議事項 （1） 評議員の推薦の同意を求めることについて （2） 専決処分の報告について
第4回 令和5年2月3日（金） 理事10名 監事2名 ※書面により審議事項を決議しました。	審議事項 （1） 副会長の選定について
第5回 令和5年3月16日（木） 午後2時～ 理事7名 監事1名	審議事項 （1） 社会福祉法人天理市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について （2） 社会福祉法人天理市社会福祉協議会令和5年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

◆評議員会 3回開催

日 時	議 題
第1回 令和4年6月27日（月） 評議員20名 監事2名 ※書面により審議事項を決議しました。	審議事項 （1） 役員の選任の承認を求めることについて （2） 令和3年度事業報告並びに収支決算について
第2回 令和5年2月3日（金） 午前10時～ 評議員15名	審議事項 （1） 理事の選任の同意を求めることについて （2） 専決処分の報告について
第3回 令和5年3月28日（火） 午前10時～ 評議員16名	審議事項 （1） 社会福祉法人天理市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について （2） 社会福祉法人天理市社会福祉協議会令和5年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

◆監事監査

日時/場所/出席者	内 容
令和4年5月27日（金） 午後2時～ 天理市社会福祉協議会 会議室 監事2名	監査事項 令和3年度の事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録についての監査

◆評議員選任・解任委員会 2回開催

日時/場所/出席者	内 容
令和4年6月7日（火） 午前11時30分～ 天理市社会福祉協議会 会議室 委員2名 常務理事1名	審議事項 評議員の選任について
令和5年1月19日（木） 午前10時30分～ 天理市役所特別会議室 委員3名 常務理事1名	審議事項 評議員の選任について

【2】地域福祉活動の推進

住み慣れた地域において、誰もが安心して生活ができるような、地域のつながりづくりの場をととして、住民が相互に支え合い、生きがいくくり・仲間づくりの輪を広げ、住民の孤立感の解消、地域の見守り活動、閉じこもり予防や介護予防、健康の維持向上を図ることを目的とし、現在実施しているふれあいサロンの支援や新たなふれあいサロンの立ち上げ支援などを行い、地域福祉の推進に努めました。

(1) 小地域における支え合い活動の推進・ふれあいサロンの推進

小地域福祉活動推進マニュアルを活用しながら、小地域ネットワーク形成の支援を行うと同時に、ホームページや各種団体をととして新規サロン設立の呼びかけを行いました。

また、現在サロンを実施している団体に対しては、相談支援（講師の紹介・備品の貸出し等）を行いました。その他、共同募金の財源を基に、助成金の応募記事を市広報紙「町から町へ」に掲載し、希望されるサロンへ助成しました。

(2) ふれあい教室の実施

高齢者が要介護状態になることを予防するため、各校区公民館において健康体操、音楽療法、作品作りなどの教室を開催しました。参加人数は下記のとおりです。

◆参加人数

(単位：人)

公民館名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
丹波市	20	21	21	22	23	19	18	15	16	19	22	16	232
櫟本	8	8	14	11	5	10	11	8	11	5	8	13	112
二階堂	9	9	11	7	中止	7	9	10	12	10	10	11	105
朝和	13	8	6	4	2	8	5	5	5	6	3	6	71
東部	6	8	5	8	5	5	6	4	6	4	6	7	70
前栽	10	9	13	8	9	10	15	12	13	16	15	12	142
祝徳	19	20	21	16	15	17	20	19	19	17	20	21	224
井戸堂	8	6	6	7	4	6	7	7	6	7	7	7	78
福住	5	6	7	4	5	4	6	4	中止	中止	5	7	53
柳本+式上	19	10	19	6	16	5	14	10	15	14	13	11	152
合計	117	105	123	93	84	91	111	94	103	98	109	111	1,239

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努め、参加者の方に体温測定・手指消毒・マスク着用等をお願いしたうえで、公民館使用規則を遵守し、開催しました。

※中止は、大雨又は積雪

(3) ボランティア事業の活動支援

地域福祉にとってなくてはならない住民参加のボランティア活動を支援するため、かがやきプラザと連携すると共に、ボランティア活動保険加入の広報や手続きを行いました。

保 険 内 容	件 数	備 考
ボランティア活動保険	472 名	(20 団体 458 名 個人 14 名)
ボランティア行事保険	19 件	
送迎サービス補償	0 件	
福祉サービス総合補償	2 件	

(4) 災害ボランティアセンター設置・運営

災害ボランティア研修会の開催

社協職員を対象に、近年日本各地で起こっている災害と、災害発生時の多種多様なボランティアの活動及び災害ボランティアセンターの機能・役割・運営についての研修会を開催しました。

日時/場所/出席者	内 容
令和 5 年 2 月 23 日 (木) 午前 9 時～午後 12 時 00 分 天理市社会福祉協議会 会議室 職員 14 名	ボランティア研修 「災害ボランティアセンターについて」 奈良県社会福祉協議会ボランティアセンター 主査 田中氏

(5) こども食堂の支援

「こども食堂」は、地域の大人たちが、こどもを真ん中にした居場所をつくる取組として全国に普及しています。天理市では、名称、主催団体、活動内容等多様ですが、あたたかな食事を囲み地域みんなでこどもを育んでいく場として、創意工夫をしながら「こども食堂」への取組が広がっています。そのような「こども食堂」の立ち上げ支援費及び運営助成金等の申請に必要な推薦を行いました。

なお、本年度も市内 3 か所の営農組合よりお米の寄付があり、こども食堂を運営している希望団体に分配しました。

また、市民の方から「市内の子ども食堂への支援に」とご寄付をいただき、子ども食堂の運営補助として希望のあった子ども食堂へ調味料及び玩具を提供しました。

(6) フードバンク天理の取組

フードバンク天理は、天理市及びその周辺地域を活動範囲とし、市民や企業等からの食品の寄付を受け、対象地域で活動する福祉施設・事業所、支援団体等を通じて、必要としている方々への食品提供を行なっており、本会は共同事務局として支え合い活動の推進に取り組みました。

フードバンク天理と天理市は、食品ロス削減推進月間である 10 月に「市内一斉フードドライブ週間」を実施し、本会事務所でも食品の受付を行いました。

そのほか、天理駅前で開催されたボランティアフェスタにおいて、フードドライブで集められた食品を市内の子ども食堂へ配布する取組を行いました。

また、コフフンで月 2 回行われたフードドライブにも参加しました。

(7) 地域福祉活動計画の推進

近年、本市においても、少子高齢化の進行や地域のつながりの希薄化、生活の多様化などにより、介護と育児（ダブルケア）問題、8050 問題、生活困窮といった、公的なサービスの提供だけでは対応が困難な、新たな課題が増えています。

このような状況の中、地域で暮らす全ての人が支え合う「地域共生社会」の実現が求められており、地域の福祉力向上に向けて体制を構築し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる「まちづくり」を目指して施策を進めていく地域福祉活動計画を推進しました。

【3】福祉団体の活動支援

福祉団体の活動がきめ細かく推進できるように活動支援を行いました。

(1) 民生児童委員協議会の活動支援

① 役員会開催

② 市長と市民生児童委員協議会との懇談会 令和 4 年 11 月 29 日（火）

(2) 長寿会連合会の活動支援

① 役員会開催

② グランドゴルフ大会・ペタンク大会・校区ウォークラリー大会の開催

(3) 障害者福祉団体連合会等の活動支援

① 役員会・研修会の開催

② 市長との懇談会 令和 5 年 1 月 31 日（火）

③ 「障害者の日」記念事業の開催 令和 4 年 12 月 4 日（日）

【4】共同募金事業への協力

（１）赤い羽根共同募金

令和４年１０月１日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施され、天理市においても募金活動を行い、多くの方々から次のとおり善意の募金が集まりました。

◆募金状況

区 分	金 額（円）	備 考
戸別募金	1,967,790	自治会（町内会）等を通じて寄付をお願いする募金
法人募金	2,713,978	法人（企業）を対象をお願いする募金
街頭募金	34,718	駅前・スーパーの店舗前で通行人に寄付を呼びかける募金
学校募金	172,181	小・中・高等学校の児童生徒に呼びかけて行う募金
職域募金	246,254	官公庁などの職員の自発的な募金、クオカード募金、募金箱による募金
そ の 他	49,728	自動販売機募金・寄付付き商品の寄付による募金・利息
合 計	5,184,649	

◆助成状況

区 分	件数（件）	金 額（円）	備 考
地域福祉活動	5	1,074,000	給食配食サービス、独居老人食事会
障害者（児）福祉活動	9	597,090	障害者（児）の余暇支援・文化活動援助
福祉団体助成	1	40,000	子育て支援
ボランティア活動育成	7	270,000	老人福祉施設奉仕、手話通訳等
老人福祉活動	1	200,000	長寿会事業
合 計	23	2,181,090	

上記のとおり、前年度（令和３年度）に集まった募金から奈良県共同募金会より、奈良県共同募金会天理市共同募金委員会に対して 3,597,100 円の配分を受け、審査委員会の審査を経て、申請のあった市内福祉施設、団体及び福祉活動に対して助成しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業中止又は縮小した５団体より計 236,488 円の返金がありました。

（２）歳末たすけあい募金

令和４年１２月１日から１ヶ月間実施し、集まった募金を低所得世帯に対する歳末見舞金として配布しました。

◆募金状況及び歳末見舞金

区 分	金 額（円）	備 考
募 金 額	1,313,903	自治会（町内会）等を通じて寄付をお願いしました。
歳末見舞金	669,000	100 世帯 223 人

差引額 644,903 円は、共同募金配分金事業（618,903 円）と共同募金委員会事務費（26,000 円）へ

【5】相談・援助活動の推進

（１）心配ごと相談事業

民生委員・児童委員 16 名の方に相談員として協力していただき、毎週木曜日午前 9 時から正午 12 時まで、天理市役所一階の相談室で、住民からの相談に応じました。

◆相談内容及び取扱件数

相 談 内 容	件数 (件)	相 談 内 容	件数 (件)
1. 生計	3	12. 財産	3
2. 年金	1	13. 事故	0
3. 職業・生業	4	14. 児童福祉・母子健康	0
4. 住宅	2	15. 教育・青少年	0
5. 家族	6	16. 心身障害者（児）福祉	0
6. 結婚	0	17. 母子福祉・父子福祉	0
7. 離婚	0	18. 老人福祉	1
8. 健康・衛生	0	19. 苦情	2
9. 医療	0	20. その他	0
10. 精神衛生	0		
11. 人権	0	合 計	22

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対策として相談員と相談者との対面を避けるため、隣接した部屋での電話による相談を開設し、民生委員の方々の協力のもと市民からの相談を受けました。

（２）社協への相談・問い合わせ

生計、家族、財産等の相談を 97 件受けました。

（３）福祉資金の貸付援助

低所得世帯の自立支援と生活向上をめざし、これらの世帯に民生児童委員の協力を得て、生活資金の貸し付け及び償還業務を行いました。

◆福祉つなぎ資金及び母子福祉資金貸付状況

（単位：件・円）

区 分	令和 4 年度		令和 3 年度		比較増減	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
福祉つなぎ資金	10	429,000	11	430,000	△1	△1,000
母子福祉資金	4	200,000	2	100,000	2	100,000
合 計	14	629,000	13	530,000	1	99,000

◆福祉つなぎ資金及び母子福祉資金償還状況

(単位：件・円)

区 分	令和 4 年度		令和 3 年度		比較増減	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
福祉つなぎ資金	62	354, 000	25	248, 000	37	106, 000
母子福祉資金	17	125, 000	10	50, 000	7	75, 000
合 計	79	479, 000	35	298, 000	44	181, 000

(4) 善意銀行の活用

市民の善意の預託（寄付金・物品）を地域福祉事業に役立てるとともに、預託者の意思を生かした活用を行いました。

また、イチカ（天理市デジタル地域通貨）による地方消費が、地域支援活動へと還元される仕組み「イチカプラス」事業に加盟参加された店舗の売上の一部を、市内の子ども食堂活動支援にと善意銀行へ寄付があり、希望される子ども食堂へ配布しました。

◆預託件数及び預託金・預託物品

(単位：件・円)

区 分	令和 4 年度		令和 3 年度	
	件数	金 額	件数	金 額
預託件数及び 預託金	4	1, 402, 472	3	129, 154
預 託 物 品	車椅子 3 台 米 90 k g お菓子		車椅子 4 台 米 90 k g 着脱式車イス緊急 避難装置 1 台	

◆助成内容

○寝たきり老人への支援

民生児童委員の協力を得て、寝たきりの老人にシーツを配布しました。

配布人数 149 人 シーツ代金 244, 300 円

(5) 福祉自動車の貸出の推進

一般車輛への乗降が困難な車イス利用者に車イスで乗降ができる福祉自動車の貸出を行いました。 ・貸出件数 13 件

(6) 車イスの貸出の推進

一時的に短期間、車イスを必要とする方に対し、善意銀行に預託を受けた車イスを活用させていただき、貸出を行いました。 ・貸出件数 173 件

(7) 福祉体験器具の貸出

高齢者や体の不自由な人の身になって身体的機能低下や不自由さを体験できるセットの貸出を行いました。 ・貸出件数 8 件

(8) 苦情解決の実施

本会事業の利用者からの苦情の適切な解決を図るため苦情解決担当者、苦情解決責任者及び中立な立場の第三者委員を定めています。

本年度は、利用者からの苦情の受付はありませんでした。

【6】日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）の推進

認知症や知的・精神障害等により日常生活を営むのに支障がある人に対し、福祉サービスの適切な利用のため、関係機関と一体的に連携し支援の充実に努めました。

・契約者数 68 名（内訳 新規契約者数 7 名・解約者数 14 名・継続契約者 61 名）

令和 5 年 3 月 31 日現在の契約者数 54 名

◆支援内容

(件数)

支 援 内 容	令和 4 年度	令和 3 年度	比較増減	備 考
利用に関する相談・助言	1, 803	1, 427	376	福祉サービス利用に関すること。
行政手続等に関する援助	565	550	15	住民票等の届け出、郵便物の確認に関すること。
日常生活費の管理	553	571	△18	預金の払い戻し、解約、預け入れ等
合 計	2, 921	2, 548	373	

【7】広報活動の充実

(1) 社協広報紙の発行

令和 5 年 3 月号の「町から町へ」への折り込みにより、「社協だより てんり」第 24 号を配布し、日常生活自立支援事業等の案内を行いました。

(2) ホームページ及びフェイスブックの更新

ホームページ及びフェイスブックに、社協の組織、活動、施設の案内等全般にわたる内容を掲載しました。

ホームページアドレス <http://www.tenri-shakyo.jp/>

(3) ポスターによる啓発

5月の児童福祉月間並びに9月の老人福祉月間において民生児童委員の協力をいただき、それぞれの啓発ポスターを各地域に配布しました。

【8】受託事業の円滑な運営

(1) 天理市立地域活動支援センターの運営（指定管理者の指定）

利用対象者は、天理市にお住まいの18才以上65才未満で、日常生活を営むのに支障がある在宅の身体障害者（身体障害者手帳をお持ちの方）です。

在宅で生活する障害者の要望に応じて、各種のサービスを提供し、自立の促進、身体機能の向上及び維持を図る支援しました。

①機能訓練事業

ア．リハビリ指導

イ．歯磨き指導

ウ．音楽体操

エ．健康体操

オ．真美体操

②更生相談事業

介護等に関する相談

③活動

ア．創作活動

フラワーアレンジメント、トールペイント、書道、作品づくり

イ．文化活動

ビデオ鑑賞

ウ．スポーツ活動

風船バレー

エ．レクリエーション活動（季節行事）

夏祭り、クリスマス会等

④給食サービス

食事の提供を行い、食事の準備（刻み食・粗刻み等）・食事介助及び食事後の歯磨き介助

⑤入浴サービス

寝たままの状態が入浴できる特殊浴槽の入浴介助

⑥送迎サービス

車イスに乗ったまま乗降出来る大型リフト車及び軽自動車での送迎

◆実利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和 4年度	9	10	9	10	9	9	10	9	9	10	9	9	112
令和 3年度	9	8	7	7	9	9	10	10	9	9	10	9	106
比較 増減	0	2	2	3	0	0	0	△1	0	1	△1	0	6

◆延利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和 4年度	101	92	110	97	96	75	100	87	79	81	90	104	1,112
令和 3年度	102	84	92	96	103	91	98	95	95	84	83	109	1,132
比較 増減	△1	8	18	1	△7	△16	2	△8	△16	△3	7	△5	△20

(2) 生活福祉資金等貸付事務の推進

低所得世帯の自立及び失業者支援のため、奈良県社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付事業の貸付事務を受託し、民生児童委員の協力のもと適正な貸付事務を行いました。

(3) 臨時特例つなぎ資金貸付事務の推進

離職者を支援するため、奈良県社会福祉協議会が行う貸付の事務を行いました。離職などに伴って住居を喪失し、その後の生活維持が困難である離職者を対象とし、公的給付制度又は公的貸付制度（失業等給付、就職安定資金融資、住宅手当、総合支援資金貸付、生活保護等）の申請者が、当該給付金又は貸付金の交付を受け取るまでの生活費を借り入れるための申請事務を行いました。

◆相談件数、貸付件数及び貸付金額

(単位：件・円)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増減	
	相談件数	金 額	相談件数	金 額	相談件数	金 額
	貸付件数		貸付件数		貸付件数	
総合支援資金	9	1,155,000	5	0	4	1,155,000
	1		0		1	
福祉資金	87	1,304,000	67	2,400,000	20	△1,096,000
	8		5		3	
教育支援資金	8	3,745,000	18	1,282,000	△10	2,463,000
	5		4		1	
不動産担保型 生活資金	3	0	6	0	△3	0
	0		0		0	
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0	0
	0		0		0	
合 計	107	6,204,000	96	3,682,000	11	2,522,000
	14		9		5	

*相談件数については、相談者が借入申請書を提出するまでの間に相談を受けた件数

同一人物から複数回の相談を受けた場合、延べ件数を計上

○総合支援資金：失業などにより、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのため継続的な相談支援（就労相談、家計指導等）を行うことにより自立が見込まれる世帯に対し生活費等として貸付ける資金

○福祉資金：低所得世帯、障害者世帯又は高齢者世帯に対し貸付ける資金

○教育支援資金：低所得世帯に属する者の高校、大学又は高専に修学するための経費に対し貸付ける資金

○不動産担保型生活資金：低所得の高齢者世帯に対して、一定の住居用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金

○臨時特例つなぎ資金：公的給付制度給付金又は公的貸付制度貸付金の交付まで貸し付ける資金

◆緊急小口資金等の特例貸付（新型コロナウイルスの影響を受けて収入が減少した世帯に対しての貸付）

新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付（緊急小口資金）を必要とする世帯、及び収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に対して貸付（総合支援資金）を奈良県社会福祉協議会より貸付事務を受託し、貸付相談及び貸付事務を9月30日まで行いました。

また、1月より返済が始まりましたが、引き続き生活が困難な世帯への相談支援に取り組みました。

◆相談件数、貸付件数及び貸付金額

(単位：件・円)

4月1日 ～ 9月30日	緊急小口資金		総合支援資金		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
	60	12,000,000	54	21,480,000	114	33,480,000

(4) 奈良県フードレスキュー事業の推進

生活福祉課題を抱えている相談者のなかで、喫緊に生活上の困難に直面している相談者に対する緊急食糧支援事業を奈良県社会福祉協議会より受託し、緊急の支援を必要とされている方々に寄り添い、安定・安心した生活に向けた相談支援を行うと共に、食糧を提供しました。 ・支援件数5件

(5) 【公益事業】天理市障害者ふれあいセンターの運営（指定管理者の指定）

障害者（児）の教養、文化、スポーツ、健康増進等に係る活動の推進を図り、地域住民との「ふれあい」交流の場として運営を行い、相互の友愛と障害に対する理解を深め、福祉の増進に努めるため、施設（アリーナ・会議室等）の貸し出しも行っています。

令和4年度については新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、カラオケ、社交ダンスといった一部の利用を制限しながらの貸出を行い、各種教室につきましては感染防止に努めながら開催しました。

◆各種教室開催状況

教 室 名		開催回数 (回)	受 講 者 数		
			障害者(人)	一般(人)	計(人)
文 化 教 室	身体障害者パソコン教室	16	64	—	64
	知的障害者パソコン教室	16	46	—	46
	トールペイント教室	7	21	47	68
	合 計	39	131	47	178
教 室 名		開催回数 (回)	受 講 者 数		
			障害者(人)	一般(人)	計(人)
ス ポ ー ツ 教 室	バドミントン教室	15	66	102	168
	はぎっずスポーツ教室	7	14	45	59
	合 計	22	80	147	227

※はぎっずスポーツ教室は、知的障害児の運動能力向上のため、先生の支援だけでなく、保護者と共に習得する教室です。名前の由来は、講師の「萩原」からもじっています。

◆施設の貸出状況

(単位：人)

区 分	令和４年度			令和３年度			比較 増減
	障害者	一般	合計	障害者	一般	合計	
アリーナ	523	4,674	5,197	591	4,300	4,891	306
会議室	56	790	846	24	553	577	269
研究室	43	685	728	17	479	496	232
教養文化室	3	9	12	0	0	0	12
視聴覚音楽室	119	224	343	69	213	282	61
I Tルーム	110	56	166	63	50	113	53
合 計	854	6,438	7,292	764	5,595	6,359	933

◆利用状況

区 分		運営日数 (日)	室利用件数 (件)	利用者数 (人)	利用料金 (円)
令和 4 年 度	4 月	25	92	577	22,600
	5 月	23	77	485	8,300
	6 月	26	89	623	7,300
	7 月	26	79	486	10,900
	8 月	25	78	483	10,900
	9 月	24	81	497	8,000
	10 月	25	97	581	17,900
	11 月	24	87	611	16,600
	12 月	24	80	631	14,700
	1 月	23	86	569	15,200
	2 月	22	87	652	19,500
	3 月	26	119	1,097	12,600
	合計	293	1,052	7,292	164,500
令和３年度		292	1,009	6,359	197,100
比較増減		1	43	933	△32,600

◆ふれあい交流会

令和４年度「ふれあい交流会」については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としました。

【９】その他

一般社団法人生命保険協会奈良県協会の「福祉巡回車寄贈事業」に応募し審査の結果、軽車両（１台）を寄贈いただきました。